

Q-14 体育の1時間のタイムマネジメントについて教えてください

A 45分間の授業のなかで、本時のめあて達成にむけて何をどのように学習していくのかを逆算して時間の割り振りを考えていきましょう。

特に集合・準備・片づけなど直接学習とは関係のない時間帯を短くすることがポイントです。子どもたちにはこれらの時間を短くし、学習する時間を少しでも長くするよう話をし、きびきびと動くことを指導しましょう。また、1時間単位の学習の流れや単元全体の見通しを子どもがもてるようにしていくとよいでしょう。

1時間単位の学習の流れの例

☆「5-1みなまいマット運動」☆1時間の学習の流れの見直し

1. 場の準備を行う。(3分)
2. あいさつ・ストレッチ(首、手首を中心に)(2分)
3. 「技に関連した易しい運動」を行う(10分)
☆技に関連した易しい運動の場
(→中りかごエア→独立エア→ブリッジエア→技の連続くり返しエア→ストレッチ・バランスエア→1分30秒のローテーションで行う)
4. 集合(3分)
→全体でめあての確認をする。
→グループごとに自分のめあてを互いに伝え合う。→「主運動の場」へ
5. 自分のめあて達成にむけた練習①(7分)
6. 中間でのふりかえり(アドバイスタイム)
☆グループごとにアドバイスをしあう。友だちに一言アドバイスをしよう。
7. 自分のめあて達成にむけた練習②(7分)
8. 集合(5分)
→全体での振り返りをする。
→グループごとに振り返りを行う。→学習カードへ記入をする。
9. ストレッチ・あいさつ(2分)
10. 場の片付けを行う(3分)

単元序盤と単元終盤では、1時間の学習の流れも変わってきます。子どもの実態や教師の意図をはっきりさせたタイムマネジメントをしていきましょう。